

## 自家和合性で果実が大きくヤニ果の発生が少ないウメ新品種

### れいわ 「麗和」と わごう 「和郷」

ウメの主要品種である「南高」や「白加賀」は自分の花の花粉では受精・結実できない自家不和合性を持つため安定した栽培のためには受粉樹の混植が必要ですが、近年、開花期の天候不順の影響で結実が安定しない年が増えています。受粉樹が不要な自家和合性品種を用いることで結実不良の問題は解決されますが、ウメの自家和合性品種の多くは『小梅』と呼ばれる果実が10g程度以下の品種です。また、大果品種ではヤニ果と呼ばれる生理障害の発生が目立つものが多く問題となっています。そこで農研機構果樹茶業研究部門では自家和合性で果実が大きくヤニ果の発生が少ないウメ新品種「麗和」と「和郷」を育成したのでその特性の概要を紹介します。

### ☆技術の概要

1. 「麗和」と「和郷」の樹の特性は表1の通りです。開花盛期は「麗和」、「和郷」ともに「南高」より遅く「白加賀」より早くなります。収穫盛期は「麗和」は「南高」と同時期、「和郷」は「南高」より早くなります。
2. 「麗和」と「和郷」の果実の特性は表2の通りです。果実重は「麗和」、「和郷」ともに「南高」より小さく、「白加賀」と同程度です(写真1、2)。「和郷」は果実に占める核の割合が4.8%と極めて低く(写真2)、可食部位が多いです。両品種ともヤニ果の発生はほとんど見られません(表2)。



写真1 「麗和」の開花状況(上)と果実(下)

写真2 「和郷」の果実(上)「和郷」の核(左)と「南高」の核(右)の核(下)

表1 「麗和」と「和郷」の樹の特性 (農研機構2017-2019)

品種	樹姿	開花盛期 (月/日)	花型	花粉 発芽 能力	自家 結実率 (%)	収穫盛期 (月/日)
麗和	中	3/12	八重	有	39.6	6/22
和郷	やや開張	3/11	一重	有	36.9	6/18
南高	やや開張	3/7	一重	有	0	6/22
白加賀	やや開張	3/18	一重	無	0	6/13

自家結実率は2018-2019の平均

表2 「麗和」と「和郷」の果実の特性 (農研機構2017-2019)

品種	果形	果皮の 地色	果実重 (g)	核重 (g)	核重率 (%)	外ヤニ果 の発生 (%)	内ヤニ果 の発生 (%)	滴定 酸度 (%)
麗和	円	緑	37.6	2.67	7.1	0	0	6.71
和郷	短楕円	淡緑	34.4	1.66	4.8	0	0.7	6.73
南高	卵	緑	42.3	3.68	8.7	5.5	13.1	6.37
白加賀	楕円	緑	35.9	2.71	7.5	19.8	49.8	6.25

### ☆活用面での留意点

1. 両品種の花粉は他品種にも受粉可能で開花期が遅いため、「白加賀」、「古城」などの自家不和合性で開花期の遅い品種の受粉樹として有望です。
2. 「麗和」と「和郷」の苗木は令和3年秋季から販売されています。
3. 詳細は、農研機構問い合わせフォーム (<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>) にお問い合わせください。(農研機構果樹茶業研究部門 果樹品種育成研究領域 八重垣英明)